



感染症週報

令和8年7月6日発行



小笠原での流行状況

第27週（6月29日 から 7月5日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

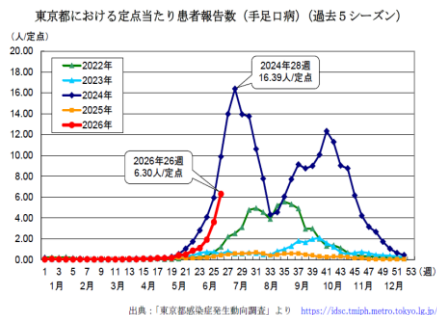
母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

東京都全体での流行状況

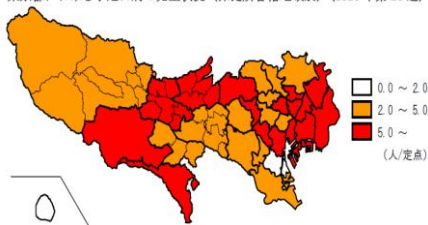
第26週（6月22日～6月28日）

【警報・注意報】

手足口病の定点当たり報告数が6.30となり、警報基準を超えました。31保健所中16保健所が警報レベルにあり、保健所管内人口の合計は、東京都全体の48.59%になります。



東京都における手足口病の発生状況（保健所管轄地域別）（2026年第26週）



※ 5例以上発生時に実数報告としています

手足口病 都内で警報基準を超えました。

主に乳幼児に流行する夏風邪で、手や足、口の中に水ぶくれができるのが特徴です。ちょっとヘンな名前ですが、「Hand、Foot and Mouth Disease」という英語名の直訳です。通常は治療しなくても1週間ほどで自然に回復しますが、まれに無菌性髄膜炎や脳炎、心筋炎を引き起こします。手足口病を引き起こすウイルスはいくつもあり、何度もかかってしまうこともあるので、日常的な感染対策が大切です。



予防のポイント

手足口病に直接効く薬やワクチンは現在ありません。症状消失後も3～4週間は便中にウイルスが排出されるので、感染対策は必須です。

・**手洗いの徹底**：帰宅時、食事前、おむつ交換のあとなどは、石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。一般的なアルコール消毒はあまり効果がありません。

・**タオルの共有を避ける**：家族間でもタオルや食器の使い分けをしましょう。

★身の回りの物の消毒には「家庭用塩素系漂白剤（ハイター等）」が有効です。

作り方：水1リットルに対して漂白剤をペットボトルのふたに1～2杯程度入れて薄める。液を染みこませた布等を固く絞って拭きます。拭き終わったら、清潔な布で十分に水拭きしましょう。



感染症メモ

大人は手足口病にかからない？



一般的に乳幼児の病気のイメージが強いですが、実際は大人の感染もあり、個人差はありますが、小児より症状が重くなる傾向（激しいのどの痛み、ピリピリする手足の痛み）があります。“水分補給と休養”が最優先ですが、高熱が3日以上続く、水分が取れない、激しい頭痛・嘔吐等の症状があれば早めに医療機関を受診しましょう。



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所